

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
1						電子カルテシステム	
1	13					運用支援	
1	13	1				資源配布機能	
1	13	1	1			クライアント資源配布	
1	13	1	1	1		WEBサーバのクライアント資源配布用フォルダに配付資源を登録することで、当該フォルダでファイルに変更があった場合は、該当フォルダの全ファイルを抽出・配付する機能を有すること。	
1	13	1	1	2		資源配付の前後にバッチ実行可能であること。	○
1	13	1	2			資源受信	
1	13	1	2	1		通常接続の資源配付サーバが停止時に、自動的に代替の資源配付サーバに切り替えができること。	
1	13	1	2	2		クライアントが接続可能なサーバのリストは一つであり、各クライアント個別の事前設定は不要であること。	
1	13	1	2	3		サーバ接続に偏りが出ないようにサーバの負荷分散を考慮した資源配付を実施すること。	
1	13	1	3			サーバ管理	
1	13	1	3	1		サーバへのファイル（フォルダ含む）配付を行うことが可能であること。	
1	13	2				管理機能	
1	13	2	1			クライアント情報	
1	13	2	1	1		リモート端末からクライアントの各種情報（コンピュータ名、IPアドレス、MACアドレス、ログインユーザ名、OS名、OSパッチ適用状況、ウィルスパターンファイルのバージョンレベル）を参照できること。	
1	13	2	1	2		リモート端末にてウィルスパターンファイルのバージョンレベルを参照できること。	
1	13	2	1	3		リモート管理端末において、クライアントを管理するためのグループは、最大で6階層を実現できグループも複数保有できる機能を有していること。	
1	13	2	1	4		リモート端末からグループ指定または任意クライアント指定で、電源のON／OFF／再起動操作やユーザのログオン／ログオフ操作、メッセージ送信ができる機能を有すること。	
1	13	3				リモート画像操作機能	
1	13	3	1			リモート操作	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
1	13	3	1	1		リモートモニタリング機能は複数同時に起動でき、管理機能とは独立して起動できること。	
1	13	3	1	2		リモート端末から任意のクライアント（複数台一斉を含む）の画面確認・操作が行えること。	
1	13	3	1	3		リモート端末から任意のクライアント（複数台一斉を含む）に対するキーボード、マウスの操作制限機能、画面のブラックアウト機能を有すること。また操作制限中はクライアント側にステータス（モニタリング中、キーボード・マウスロック中）を通知できること。	
1	13	3	1	4		リモートモニタリング端末から任意のクライアント（複数台一斉を含む）に対して電源のON/OFF/再起動操作、ユーザのログオン/ログオフ操作、メッセージ送信ができる機能を有すること。	
1	13	3	1	5		リモート端末から任意のクライアントの画面確認・操作ができること。またクライアント画面はフル画面表示ができること。	
1	13	3	1	6		リモートモニタリングは、複数台接続されたディスプレイであってもモニタリング・操作できること。	
1	13	3	2			ファイルコピー	
1	13	3	2	1		リモート端末のモニタリングコンソール上に配付したいファイルをドラッグ&ドロップ操作することで、クライアントに対して一斉コピーを行えること。	
1	13	3	2	2		リモートモニタリング端末からクライアント上のファイルやフォルダを一斉回収する機能を有すること。	
1	13	3	3			コマンド実行	
1	13	3	3	1		画面以外にもクライアントを制御するコマンド（命令）を有すること。	
1	13	3	4			クリップボード共有	
1	13	3	4	1		リモートモニタリング端末からクライアント（複数台一斉を含む）に対してクリップボード情報を一斉にコピーできること。また、リモートモニタリング端末から特定のクライアントのクリップボード情報の取得・相互共有ができること。	
1	13	3	5			画面キャプチャ	
1	13	3	5	1		モニタリング中のクライアント画面を、ファイル保存できる画面キャプチャ機能を有すること。	○
1	13	3	6			ログインアカウント情報取得	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
1	13	3	6	1		クライアントのログインアカウント一覧の表示・CSVファイルとして出力する機能を有すること。	
1	13	4				利用情報収集機能	
1	13	4	1			情報収集	
1	13	4	1	1		クライアントのPC・CPU・メモリ・ドライブ・BIOS・プリンタなどのハードウェア情報、インストールソフト名の一覧情報を収集する機能を有すること。	
1	13	4	1	2		クライアントの利用ログ（OSの起動／終了、ユーザのログオン／ログオフ情報、スクリーンセーバーの起動／終了、スタンバイの開始／終了）の動作ログを収集する機能を有すること。	
1	13	5				ディスクイメージ取得／配信機能	
1	13	5	1			配信方法	
1	13	5	1	1		雛形パソコンからディスクイメージを取得し、取得したディスクイメージを複数クライアントに一斉配信（マルチキャスト配信）または特定クライアントに指定配信（ユニキャスト配信）できること。	
1	13	5	1	2		イメージ取得／配信時には、Windows PE（Windows Preinstallation Environment）での処理が実現できること。	
1	13	5	2			対象ディスクの指定	
1	13	5	2	1		ディスク全体（プライマリ・セカンダリ）もしくは各ディスクのパーティション単位にディスクイメージを取得／配信することができること。	
1	13	5	3			Windows環境設定	
1	13	5	3	1		ディスクイメージ配信後あるいは任意のタイミングで、クライアント毎の個別設定情報（コンピュータ名、IPアドレス、ゲートウェイアドレス、DNSアドレス、OSのプロダクトID、ドメイン参加等）を自動設定する機能を有すること。	
1	13	5	4			サーバレス稼働	
1	13	5	4	1		ディスクイメージ配信を行う際、サーバ機（サーバOSインストール機）が無くても運用できること。	○
1	13	5	5			その他	
1	13	5	5	1		ディスクイメージの取得／配信を行う場合は、クライアント側で一切の操作（電源ON、CD-ROMセット等）を必要としないこと。	
1	13	5	5	2		取得したディスクイメージは世代管理ができ、パスワードによるセキュリティ設定できること。	

別紙 1 医療情報システム要求仕様書

要求仕様							必須
1	13	6				ハードディスク消去機能	
1	13	6	1			ハードディスク内のデータをリモート端末からの指示で、米国国家安全保障局方式・米国国防省方式に準拠した方式など複数の消去レベルから選択して一斉に消去することができること。	
1	13	7				WindowsUpdate連携機能	
1	13	7	1			WindowsOSにセキュリティパッチを適用する際、Microsoft社のアップデートサイトまたはWSUS（Microsoft Server Update Services）を利用し、即時またはスケジュールによる実行にてクライアントへ自動適用可能な機能を有すること。また、リモート端末からの指示だけではなく、クライアント主導での実行もできること。	